

# 平成29年度

## 第1回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成29年6月29日(木) 14:00～15:45

場 所 中央区立環境情報センター研修室

### 【議事概要】

(議題) 中央区環境行動計画の改定について

#### ●委員

中央区環境行動計画(以下「行動計画」という)の策定に当たっては、行政評価を念頭に置き、施策の成果を評価できるような方法を検討していくべきである。

#### ●委員

新たに追加した施策はあるか。

#### ●区

どのような施策を追加するかは、委員皆さまのご意見を伺うとともに、基本計画との整合性を図りながら検討していきたい。

なお、委員長からは、現行の行動計画は地球温暖化対策のウエイトが高いため、区の特徴を踏まえつつ、環境に関する総合的な行動計画に改定すべきだというアドバイスをいただいている。

#### ●委員

施策体系案は、具体的な取組み(現行事業)ありきで構成された感がある。今後、検討を重ねていくなかで、体系の構成が変わり、外れていく事業、新たに加わる事業などいろいろ出てくると思う。

#### ●委員

資料1・添付資料(以下「添付資料」という)の中に「スマートシティ」という用語があるが、行動計画の中には、どのように盛り込んでいくのか。

#### ●区

東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「大会」という)後に選手村跡地を整備し、再生可能エネルギー、さらには、水素エネルギーなどを活用した、約12,000人が居住する新たなまちづくりを計画している。

区は、東京都と連携して、環境に配慮したまちづくりを推進するという観点から、

行動計画の中には、「スマートシティ」の概念を盛り込んでいきたい。

●委員

「プロアクティブ・コミュニティ」という用語も出ているが、どんな意味か。

●区

基本構想答申では、「自ら率先して地域における課題を解決し、快適な暮らしを実現していく社会」と定義している。なお、基本構想は、後日正式に公表される予定である。

●委員

いつ頃公表されるのか。

●区

区のおしらせ8月1日号に掲載予定である。なお、それに先駆けて、一両日中には、区のホームページで公開される予定である。

●委員

東京都と連携していくほか、「中央区スタイル」としてどのように取り組んでいくのか。

●区

大会後の選手村跡地の整備を契機として、他の地区においても、開発事業者に対して、「中央区まちづくり基本条例」を通じて、環境に配慮したまちづくりを強く要請していきたいと考えている。

●委員

区内では、「スマートシティ」の基盤が整備されつつあるが、今後は、IoTを活用したエネルギー管理や資源管理を行い、さらに取組を進めていく必要がある。

※IoT・・・離れたモノ（物）をインターネットでつなぐことにより、モノ（物）の状態を把握し、管理・制御などを行うこと。

●委員

バリアフリーによる安全快適な歩行空間や車いす専用レーンの確保などについても、「スマートシティ」の概念に盛り込んでほしい。

●委員

環境とは直接の関係はないが、ユニバーサルデザインを意識した書込ができればいいのだが。

●委員

(1) 行動計画の目標値は設定するのか。

(2) 資料1・策定の趣旨には、パリ協定の採択・発効、SDGs（持続可能な開発目標）の採択など世界的なトレンドに関する記述も必要だと思う。

(3) 気候変動に関する適応策は掲げないのか。

●区

(1) について

基本計画との整合性を図りながら、5つの基本目標に対する指標を検討していきたい。

(2) について

本日の資料では、取急ぎ、区の身近な状況を記した程度なので、今後追加していきたい。

●区

(3) について

ゲリラ豪雨発生時における道路の冠水防止対策が考えられるが、基本計画との整合性や予算との関係を踏まえながら、今後検討していきたい。

●委員

再生可能エネルギーの導入量を数値目標としている区もあるが、施策ごとに数値目標は設定しないのか。設定するとしたら、これからのスケジュールの中でいつ頃提示されるのか。

●区

区で取り組める施策の範囲は限られており、どういう数値を掲げるべきなのか、なかなか判断が難しい。

現在策定中の基本計画においては、指標の設定が難しいとされているが、他区の状況を調べながら、これから検討していきたいと思う。

●委員

これから検討していくとは言っても、わずか数か月のスケジュールしかない。

例えば、再生可能エネルギーの場合、区の導入量、さらには民間事業者の導入量まで含めて検討していたら、なかなか決めることができない。

区の出組は、中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画（以下「実行計画」という）で評価できる部分もあるだろうし、実際の進行の過程で、必要に応じて数値目標を考えていけばよいと思う。当初から一気に数値目標を掲げても、できる範囲は限られて

くる。

●委員

重点プロジェクトの具体的なイメージはあるのか。

●区

中央区の森事業の拡大、東京都と連携した、晴海地区の先進的なまちづくり、築地市場移転に伴う築地川の浄化などが挙げられるが、基本計画との整合性や予算との関係を踏まえていく必要があるため、現時点では未確定の段階である。

●委員

中央区の森事業は、基本構想の中で記されているか。

●区

添付資料の中では、施策のみちすじとして、「二酸化炭素の吸収源である森林保全活動の支援を推進していきます」と記されている。

●委員

基本目標のフレーズが他区と似たような表現となっており、区の特徴が表現されていない。

基本構想と違って、環境という視点で考えるとやむを得ないことだが、ビジネスや観光の中心、さらには、整った住環境など、そうした特徴を活かした表現ができればと思う。

●委員

区には歌舞伎座や多くの老舗があり、それら匠の技を持った貴重な人材を育てていくようなまちづくりを行い、世界に誇れる伝統文化を継承していくことが必要である。

●委員

歴史や文化と環境を関連づけた書込ができればいいのだが。

●委員

添付資料の中の「水とみどりのネットワーク」は、具体的にどんな意味か。

●区

恵まれた水辺環境を活かし、都心部におけるヒートアイランド現象を緩和するという観点から、隅田川を軸とし、朝潮運河、亀島川、日本橋川などの河川に沿った緑化や道路沿いの街路樹、さらには、公園とをつないでいくことにより、区全体のネットワーク化を図ることである。

●委員

ネットワークを示すマップのようなものはあるか。

●区

関連計画である中央区緑の基本計画（以下「緑の基本計画」という）の中で、計画図として掲載している。

区全体のネットワーク化は、10～20年という長い期間の中で取り組んでいくものなので、新たな行動計画においても、そのような視点に立って計画的に進めていきたいと考えている。

●委員

緑の基本計画の改定は行うのか。

●区

今年度は、緑の実態調査を行っており、緑の基本計画の改定は、来年度に行う予定である。

●委員

現行の行動計画では、「中央エコアクト」は、地球温暖化対策事業であるが、資料3では、基本目標5のなかで、環境活動として位置づけられている。

この事業は、区の特徴的な取組であり、今後ともさらなる普及を図っていく必要があるから、基本目標1では、地球温暖化対策事業に位置づけ、基本目標5では、再掲とすべきだと思う。

●区

ご指摘のとおり、相互に関連してくる事業と言えるので、そのような位置づけで検討させていただく。

●委員

環境に配慮した都市の一例として、オレゴン州のポートランドがあるが、区がイメージするまちづくりを具現化したような都市と言えるので、参考になると思う。

また、環境とは直接的には関係ないが、人権も世界的なトレンドの1つである。

例えば、先進的な都市では、トイレが男女とは別に、LGBT用に設置されているところがある。

●区

区内には、86か所ほどの公衆トイレがあるが、改修に伴い、バリアフリー方式の「だれでもトイレ」の設置を進めている。

このトイレは、車いすの方や男女関係なく利用できるもので、ノーマライゼーシ

ヨンの観点から、今後とも導入していきたい。

●委員

「世界環境会議」などでも、人権に関する議題があるが、行動計画の中に書き込むのは難しいのでは。

●委員

「区政世論調査」では、環境に関する調査は毎年行っているのか。

●区

過去にも行ったことはあるが、毎年ではない。調査内容については、全庁的な調整があるが、来年度以降も行えるよう、担当部局との協議を行っていく。

●委員

類似の設問があれば、過去の調査と比較してみしてほしい。比較することで、区民の意識の変化が把握でき、施策の評価につながると思う。

●委員

平成27年度以降の温室効果ガス排出量の確定値が公表されるのはいつか。

●区

平成27年度分については、平成30年3月に、オール東京62市区町村共同事業（事務局：公益財団法人特別区協議会）から公表される予定である。

●委員

区の現状を見ると、今後10年間で人口や事業所数が増加し、明らかにエネルギー消費量が増えていく。また、IOTの普及によるライフスタイルの変化に伴い、宅配需要が高まっていけば、ダンボールなどのごみもますます増えていく。そのような背景を踏まえて、温室効果ガスの削減目標を考えていく必要がある。

●委員

各種統計データについては、相対的な比較ができるよう、東京都や他区の状況を載せてほしい。

また、河川の水質を評価する場合、BODだけではなく、生態調査による生物の生息状況も踏まえたほうが、改善の度合が見え、区民にはわかりやすいと思う。

※BOD・・・河川の汚れ度合いを示すもので、この数値が大きいほど、河川が汚れていることを示す。

●委員

10ページの資源回収量についても、前ページのごみ収集量と同様、1人当たりの数値を入れてほしい。また、環境省がごみ収集量と資源回収量を合算した一人当たり

の数値を公表しているのので、比較してみてください。

●委員

各ページの主な課題は、内容の充実度にばらつきがないようにしてほしい。

●委員

本資料は、資料2の目次案で見ると、第2章 現状と課題の部分に該当し、それを受けて、第3章以降に展開していくという理解でよいか。

●区

お尋ねのとおりである。本資料は、他の章に先駆けて、今回提示させていただいた。なお、他の章については、次回以降の委員会で提示させていただく。

●委員

8ページの実行計画に関する記述だが、単に環境に配慮した行動の実践だけではなく、これまで積み重ねてきた取組をさらに展開・発展させていくような表現にするべきだと思う。

●委員

大会後のまちづくりを見据える必要はあると思うが、水素エネルギーの導入は、重点プロジェクトとして位置づけていくのか。

●区

次世代のクリーンなエネルギーとして、住宅やバスなどの公共交通機関への普及が強く期待されていることから、重点プロジェクトに含めていきたいと考えている。

●委員

水素エネルギーの導入は、かなり長期的な視点で推進していくものであるため、10年後における二酸化炭素排出量の削減効果はそれほど大きくはないと思う。

●委員

本日、各委員からさまざまな意見が出されたので、十分な検討をお願いします。

区の特徴を活かしながら、これからの10年間、さらには将来にわたって、環境政策の基盤となるような行動計画を策定してもらいたい。また、それに沿った各施策を推進し、数値化できるもの、できないものがあるが、何らの方法できちんと評価をしていってほしい。

以上